

読書

啓明(けいめい)文庫 別文庫の一つとなった。は、「書物は個人の所有 伊東氏は、京都帝国大であつても、その本質に 学大学院ドイツ文学科を おいて公共のものである 卒業後、四六年に岐阜薬 学専門学校(現在の岐阜 薬科大学)に教授として 赴任され、以来、岐阜の 住人となった。名古屋工 業大学、中日本自動車短

県図書館に行こう

こんな情報 が待っている

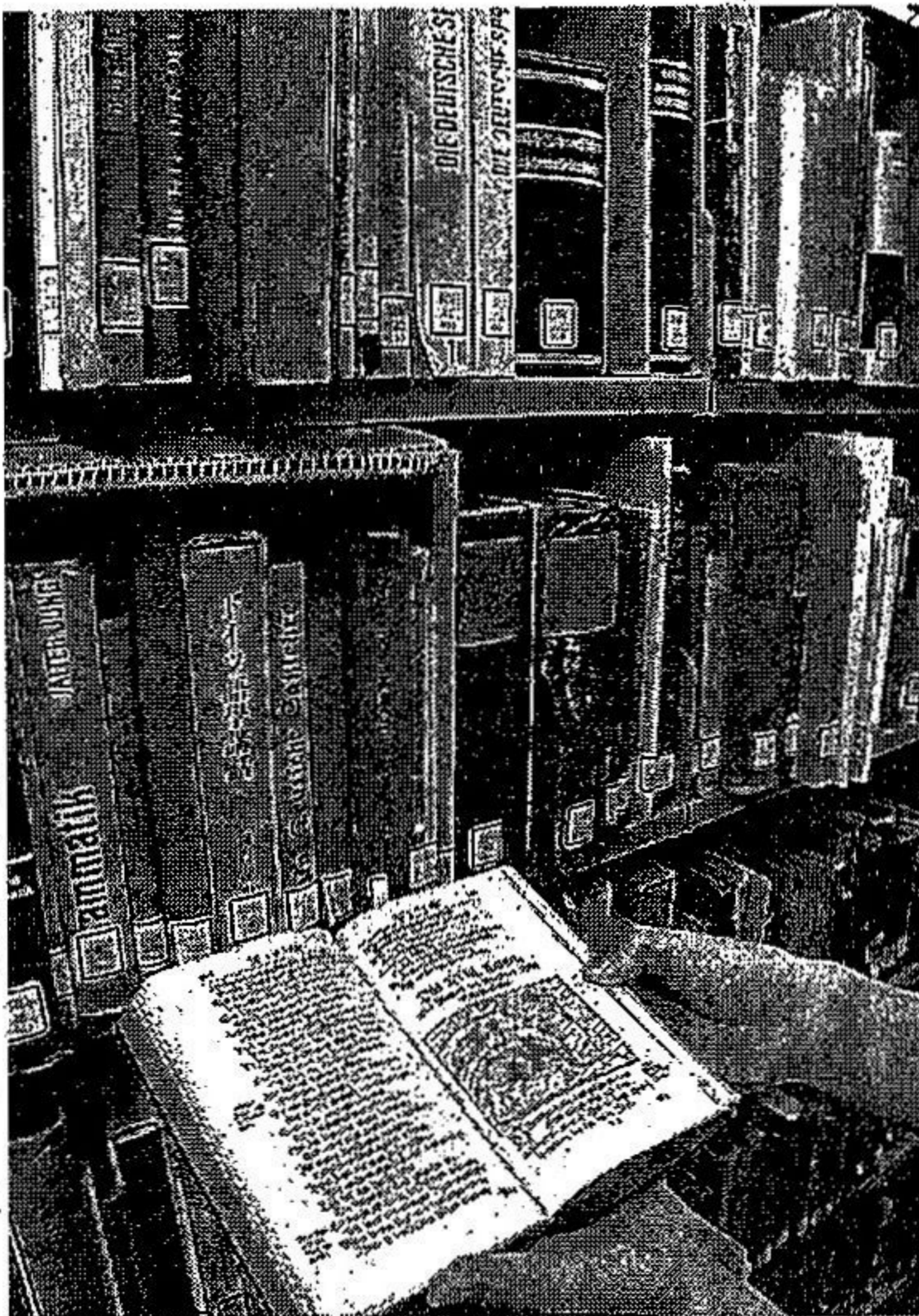
で収集した文献千八百二 期大学などでもドイツ語 点から成る。岐阜県立図 書の館に七三(昭和四十八) に退職された。 年に寄贈を受けて「閑淡 研究者としての伊東氏 文庫」として開設。その は、ヨーロッパに古くか 後、九〇(平成二)年ま ら伝承されている動物叙 事詩「ラインケ狐」をは 受けて、九一年に今の名 称に替え、新図書館の特

ドイツ文学1800点継承

伊東勉氏寄贈の啓明文庫

らにドイツ社会思想史、 中国文学などの研究に功 績を残した。岩波文庫に は「ラインケ狐」やハイ ネ著「ドイツ古典文学の 本質」などの翻訳書を中 心に五本の著書がある。

伊東氏の研究課題は 「ドイツ語」から「ドイ ツ史」「ドイツ文学」か ら「文学理論」「比較文 学」へと拡がり、晩年は 老子、寒山詩、石川啄木 の短歌のドイツ語訳に情 熱を傾けた。当文庫の資 料はこのような伊東氏の 研究に即して収集された もので、中には十八世紀 から十九世紀にかけての 稀覯(きこう)本も多く 含まれている。



ドイツ文学史研究家から寄贈を受けた特別文庫「啓明文庫」コレクションと「ラインケ狐」

BOOK REVIEW